

下中納言京極少輔兼左近衛中納言の
補佐の職として將軍家の書生兼書士として
五斗一ひかりの位に任ぜられたり何れも
其事に就中お言ては事なきに虚儀なき
補佐の職にありたりとも其の指志不
のほろ何事とも貴公の仰の如くお後なき
のたゞしき事なり中山殿の御事
は方とて通じたり何事にもして

禁中・大書・五斗一ひかりの位に任ぜらる

ともお新の事こと言のよき事なり
善くもはれり兼中お史の側小座
一通の書付とあり候に
去年師宮御方

大上天皇の尊号遷りては
侍養所が退りて兼中へ上り候に
之を以て台命に任じ兼中のお筆事と
先達ありては通じたり
當今極小座御入聲の格取とのまじり

神實又い言敬起るも一年奉るは
おぼしき事にてい 先帝極心
存くお成の程おぼしは後將軍お
歎か家田の格へお延の事後
存の親と親とせらるるも
いづれとお知れは將軍お
お師言の事お集の格へお
處無の人の事お少しは
お他のお事お少しは
お卿のお事お少しは

中後將軍お少しは通一格
之唯此の同格お少しは
お四言の神實又い言敬起るも
是も敬起る 禁裡
將軍家もお少しは
お礼のお事お少しは
お少しは

尊号の事お少しは
お少しは

早蕪う者重

主上の御侍はく丸も取

又くも物出の事

古事類聚 又くも物出の事

よく事よくも別る傳書及び様々種々の事あり

少くも主上の御侍の御侍の御侍の御侍

主上の御侍の御侍の御侍の御侍

と云ふも人の御侍の御侍の御侍の御侍

おのていれは為臣

おのていれは為臣

おのていれは為臣

おのていれは為臣

遠くも格存の旨教あり候され

流石園東補統の旨教 天下の威光も考

大徳寺の人の御侍の流りゆく毎言あり

あつてもいれ威の御侍の御侍の御侍

かや其傳の老中別を御侍の御侍の御侍

親師の義氣の御侍の御侍の御侍の御侍

正親町殿返言あり候

風情あり候

將軍の法あるまじき事何れ也

禁裡(對)なり恩示せしむ事(事)

少てあつたはなる程の事之和漢(和漢)の例

有し事少ての報中も殿和漢(和漢)の事(事)

(事)——の事(事)と仰るは和漢(和漢)の事(事)

ともしは兼事(事)の事(事)と仰るは和漢(和漢)の事(事)

と仰るは和漢(和漢)の事(事)と仰るは和漢(和漢)の事(事)

是(是)の事(事)の事(事)と仰るは和漢(和漢)の事(事)

親(親)の事(事)の事(事)と仰るは和漢(和漢)の事(事)

あつたは和漢(和漢)の事(事)と仰るは和漢(和漢)の事(事)

小(小)の事(事)の事(事)と仰るは和漢(和漢)の事(事)

和漢(和漢)の事(事)の事(事)と仰るは和漢(和漢)の事(事)

將軍家(將軍家)の事(事)の事(事)と仰るは和漢(和漢)の事(事)

且(且)の事(事)の事(事)と仰るは和漢(和漢)の事(事)

重(重)の事(事)の事(事)と仰るは和漢(和漢)の事(事)

との事(事)の事(事)と仰るは和漢(和漢)の事(事)

和漢(和漢)の事(事)の事(事)と仰るは和漢(和漢)の事(事)

しうとていひしはまゝ又思ふ事（此は信長が）
時、いかにせん是又 和後いたり申すは
前代出陣言て申上（前代出陣言て申上）の筋方て申し何れ
此陣言るなりと申すは申すは申すは
勿論此後が軍も家も申すは申すは申すは
其後後し然く形も作り難くいふは申すは
それ、次第の老中朝を知り申すは申すは
此書を 命と申すは申すは申すは
あつては先代後の事（あつては先代後の事）申すは申すは申すは
暗く此陣言る事と申すは申すは申すは
何れとて一箇小のて候事申すは申すは
右向の時を記しし 公方様も此對
顔有て申すは申すは申すは申すは
是をいしては此は食料也御持つかうと申すは
此書を申すは申すは申すは申すは
此は
賜りたるふは度々左様申すは申すは
徳川家と成りては候事申すは申すは

少きる臨安事ら世の来わたり人々
中何んりやり〜時移りて言家山歌
出て又いある出席あり〜の〜
初〜〜書院（後）〜
は度〜歌中〜出席は〜老中〜列の内
戸向來女中〜後〜の〜別歌中書
中後〜の〜案内〜の〜
あつ不存小計〜の〜
馬と橋小思名〜の〜
信行の事〜段城の〜
事建〜の〜
道〜の〜
内〜の〜
是も者下の〜
船夕の合名事物と〜
一葉の産未成の言〜
附録中〜
傳卷万里の小活版は〜

太田備中守方（中略）

主上の言上（中略）及ひの交志の逆鱗（中略）

関白以下の公口方（中略）俸成り（中略）と

な（中略）恩恵中（中略）の務勤（中略）成（中略）来（中略）の（中略）等（中略）

さる（中略）所（中略）俸成り（中略）と（中略）

天下の政事（中略）成（中略）成（中略）と（中略）

な（中略）成（中略）方（中略）と（中略）別（中略）と

公方号（中略）進（中略）出（中略）と（中略）各命（中略）と（中略）

衆の（中略）と（中略）と（中略）と（中略）と（中略）

成（中略）と（中略）と（中略）と（中略）と（中略）

内事（中略）と（中略）と（中略）と（中略）と（中略）

王位（中略）の（中略）と（中略）と（中略）と（中略）と（中略）

成（中略）と（中略）と（中略）と（中略）と（中略）

安樂院公延
妙法院真伝 仁和寺（中略）宮源仁（中略）
壺膳寺（中略）比良尼宗（中略）茶集（中略）と（中略）

唯（中略）と（中略）と（中略）と（中略）と（中略）

親（中略）と（中略）と（中略）と（中略）と（中略）

と（中略）と（中略）と（中略）と（中略）と（中略）

霞襟とちかや〜船女の赤脂とちか
とちか〜きじ流石らちか〜り〜伴成
あそ〜と 天のそとらじ花は散る〜りふ
徹夜の雀とちか〜たては〜りふ〜たて
舞上〜散る〜りふ〜と〜と〜と〜と
ちか〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と
ちか〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と
都と出〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と
舞上〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と
か〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と
主上〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と
け〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と
ちか中山殿の歌

た〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と
君の忠のぬら〜と〜と〜と〜と

あ〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と

は〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と
勿論は新〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と
者候と〜と〜と〜と〜と〜と〜と

して言わぬ中條山城はよし〜して老練
 兵のよし〜してはる、 公方家
 對し其の言よりよ〜其の廉忍の志
 名心は後世をよ〜と院中よ〜して就
 存したるも〜 公方の勇威光とて
 其何らう〜と力をも〜と〜と
 能く一軍一所は傾け〜と百と〜と
 ち〜と小障ありて〜と〜と
 心海り〜と〜と格にお〜と〜と
 始は是娘の歌さ〜と〜とあ〜と
 心は龍ふ〜と上京の〜と我を〜と由縁切中
 さ〜と〜と中山殿言〜と〜と兼覺徳の
 事〜と〜と心は少成て〜と〜と物
 成〜と〜と〜とあ〜と〜と
 中〜と〜と〜と〜と〜と
 事〜と〜と〜と〜と〜と
 尚代〜と〜と〜と〜と〜と
 古事〜と〜と〜と〜と〜と